

## ～イギリス留学体験記～ 07/2010～03/2011

### International Year Abroad Programme at Middlesex University

国際文化学科 4年生

#### ～留学の概略～

留学体験記として最初に、留学の動機、留學生活、そして帰国後の事とアドバイスを述べていきます。Middlesex University はロンドンに3キャンパスあり、県立広島大学のような感じです。ロンドンの街の北部にあり、街から地下鉄で30～40分くらいで行くことができます。

まず初めに、私が留学する動機は2点ありました。1点目に、海外で生活してみることに関心があったためです。2点目として、将来何が(どういう仕事)したいのか分からなかったため、参考として海外での物事の考え方や、仕事等を経験してみようという考えがあったためです。私は1年遅れで大学を卒業したくなかったため、大学2年生の7月から3月まで留学し、3年生では授業と就職活動を両立させようと、イメージしていました。3年生で留学に行く場合、単位をある程度取得できてから行けるのですが、当時の私にとっては未知数すぎる「就職活動」があり、3年時には日本に居られるようにするため、2年生の時に行くことを決意しました。

留學生活について、生活面と勉強面について分けて書いていこうと思います。生活面における「住居」なのですが、私は7月8日(くらい)～9月14日(夏季英語集中講義の修了まで)の間は学生寮で暮らしていました。9月15日以降は次の学生がやって来るため、移動しなければならなかったため、ホームステイへ切り替えました。これは、留學前にあらかじめ申し込んでいました。他の学生は、空き室のある別の学生寮を探す等をしていました。そして、1月上旬くらいまではホームステイで過ごし、それからインターンシップ先の場所の近くに引っ越しすることにし、シェアハウスを選択しました。学生寮に移った他の学生も、1月上旬からは期限切れのため、再び引っ越ししなければなりません。私は「MixB」というサイトで様々な条件の家を探し、電話をかけ、大家さんと話をし、契約しました。

勉強面では、夏季英語集中講義でも正規の大学の授業でも、積極的に発言する学生が多いと感じました。また、1つの科目が講義とディスカッションとに分けられ、それぞれしっかりと授業時間(60分～90分)で行われ、より専門的な知識や考えが身に着くと感じました。ディスカッションでは、語学レベル的に全く参加できない場合もありますが、友達に聞く等して、何とか理解しようとする姿勢が大事だと思いました。

留学を経験することで、物事を考える視野が広がりましたし、実際に行動してみる必要性や重要性を感じることができたと思います。もちろん、就職活動にも役に立ちます。反省点として、落とした1科目を、もう少し努力して勉強すべきだったと思っています。また、現地の友達に嫌われるくらいもっと英語で話す練習をすべきだったと反省しています。それほど貴重な機会だったと、帰国してしばらく経つと実感しました。

アドバイスとしては、1人で留学し、日本人以外の友達を多く作る事です。正規の大学の授業は難しく、留学生同士で助け合うことが大事になっていきます。また、英語を話さなければならない状況を当たり前にするべきです。そして、留学する前に帰国してからのプランを考えておくべきです。単位を詳細に計算しておくことももちろんですが、就職活動がいつから始まり、どういうフローなのかを頭に入れておくべきだと感じます。これから歩いていく人生を、井の中の蛙の状況で過すことは非常にもったいないことで、何年も留学を経験してから社会に出ることは、決して遅くもなく、間違ってもいいと思います。

## ～授業について～

・6月中旬～9月中旬まで、夏季集中講義（Intensive Academic English Course）がありました。留学前の TOEFL (iBT) や IELTS の点数によって、開始の時期（6～8月）を選べました。ここで日本人は私を含む7人で、講義受講者全体の10%未満でした。私は TOEFL iBT のスコアが 67 点でしたので、6月か7月かを選べました。

### ・夏季英語集中講義タイムスケジュール

9:30~11:00	基本的な文法や発音練習。ニュースの聴きとりやゲーム形式の授業。2グループに分かれてのディスカッション。エッセイの書き方、先生と1対1の添削など。
11:30~13:00	
昼休憩(1hour)	午後は先生が変わり、プレゼンテーションの学習。レポートの書き方。情報収集のやり方。水曜日は午後の授業はなし。
14:00~15:30	

- ・授業風景（寝ている人が多いですが、チュートリアル（1対1の添削）中の待ち時間です。ちなみに彼らは中国人です。）



- ・放課後は、宿題や予習、夕食の買い物、公園でサッカー等をしました。夏場はとにかく日が長く（夜9時くらいまでは明るい）、学生寮にテレビがないので、とにかく外出していました。
- ・土日は週末課題としてのエッセイに取り組む。
- ・たまに大学主催の日帰りバス旅行（£10）に参加。

## ケンブリッジ



## オックスフォード





## ウィンザー城

・9月中旬～10月までは夏休み。(この間に、学生寮からホームステイへ移動)  
10月～12月下旬まで正規の大学の授業。ここから1人日本人が増え、3つあるキャンパスに分かれました。私のいるキャンパスはヘンドンキャンパスで、私を含め2人の日本人がいました。

### ・大学授業タイムスケジュール

月	火	木
ビジネス統計学のレクチャー <b>11:30~12:30</b>	発展学のセミナー <b>10:30~12:00</b>	発展学のレクチャー <b>10:00~11:30</b>
ビジネス統計学のセミナー <b>14:00~15:30</b>	政治学のレクチャー兼セミナー <b>12:30~14:00</b>	ビジネス統計学のラボ <b>16:00~17:00</b>

・授業は主にレクチャー（講義）とセミナー（ディスカッション）が1セットになっています。稀に、ラボ（パソコン）などの実習があります。  
・授業は1～4つ選択できます。

- ・クリスマスシーズンの大学のエントランスです。



- ・12月下旬～1月上旬まで冬休みでした（この間にホームステイからシェアハウスへ移動。部屋は自分で探す）。1月上旬～2月中旬まで、インターンシップを経験（インターンシップ先も自分で探す）。実質、12月の大学が終わった時点で、帰国可。

### ・インターンシップタイムスケジュールと業務内容

#### ☆インターンシップの簡単な内容

City Investment Group という会社で、エネルギー資源開発のための資金を集めることが仕事内容でした。そこで私は、日本の会社に電話をして、エネルギー資源開発の案件に参加してくれるかどうかを伺う、という業務をしました。

<b>8:00 or 7:00</b>	仕事開始
<b>~10:00</b>	日本の会社に電話し、インターンシップ先の会社が扱っている企画の興味の有無を伺う。興味があればこちらから資料を送る。（時差の関係で電話は10時までで終了）
<b>10:00~12:00 or 13:00</b>	電話で話した内容の整理。扱っている企画に合う日本の会社のリストを作成。次に電話をかける企業を考える。今日の内容を、上司へ口頭とメールで報告。

- ・これを週に1～3回の6週間、計10回、経験しました。
- ・行くたびに、交通費と昼ご飯代として、£10支給されました。

## ☆ギャラリー☆

### ～学生寮～

学生寮の共同キッチン（汚いですが）。  
窓から見えるのが大学です。



共同部屋です。勉強したり、ごはん食  
べたり。

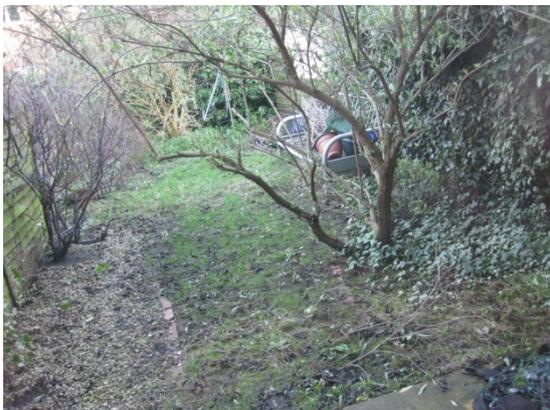


### ～シェアハウス～

シェアハウスの部屋。結構広い。窓からは、何と庭へ行けます。（次ページへ続く）



ただお手入れが必要でしたが。。



共同キッチン。ここも広く、使いやすい。



プチ旅行でブライトンにも行きました。曇りでしたが。  
電車で片道2時間ほどで行けました。日帰り旅行には丁度良いと思います。



まだまだたくさんあるのですが、やはり、行ってみるのが一番です。